

試験報告書

依頼者 株式会社 除菌工房

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町52番1号



検体 Bactakleen ウルトラミストハーバル

表題 殺菌効果試験

2020 年 07 月 31 日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

殺菌効果試験

1 依頼者

株式会社 除菌工房

2 検体

Bactakleen ウルトラミストハーバル

3 試験概要

検体に試験菌液を接種後(以下「試験液」という。), 所定時間後に試験液中の生菌数を測定した。また, あらかじめ予備試験(中和条件の確認)を行い, 検体の影響を受けずに生菌数を測定できる条件を確認した。

4 試験結果

結果を表-1, 試験条件を表-2に示した。

なお, 試験液をSCDLP培地で希釈する中和条件により, 検体の影響を受けずに生菌数の測定ができることを確認した。

表-1 試験液の生菌数測定結果

試験菌	対象	生菌数 (/mL)			
		開始時	5分後	10分後	15分後
大腸菌 (O157:H7)	検体	—	<10	<10	<10
	対照	7.6×10^5	—	—	7.4×10^5
緑膿菌	検体	—	<10	<10	<10
	対照	8.4×10^5	—	—	8.1×10^5
黄色 ブドウ 球菌	検体	—	<10	<10	<10
	対照	5.5×10^5	—	—	5.9×10^5

<10: 検出せず

保存温度: 室温

対照: 精製水(黄色ブドウ球菌は生理食塩水)

表-2 試験条件

試験菌液	試験菌	① <i>Escherichia coli</i> ATCC 43888 (大腸菌, 血清型O157:H7, ペロ毒素非産生株) ② <i>Pseudomonas aeruginosa</i> NBRC 13275 (緑膿菌) ③ <i>Staphylococcus aureus</i> subsp. <i>aureus</i> NBRC 12732 (黄色ブドウ球菌)
	試験菌①及び② 前培養：普通寒天培地[栄研化学株式会社], 35 °C ± 1 °C, 18~24時間 菌液調製溶液：精製水 菌数：10 ⁷ ~10 ⁸ /mL	
	試験菌③ 前培養：普通寒天培地, 35 °C ± 1 °C, 18~24時間 菌液調製溶液：生理食塩水 菌数：10 ⁷ ~10 ⁸ /mL	
試験液	検体10 mLに試験菌液0.1 mLを接種	
保存条件	5分, 10分, 15分(室温)	
中和条件	SCDLP培地[日本製薬株式会社]で10倍希釈	
対照	試験菌①及び②：精製水 試験菌③：生理食塩水	
生菌数測定	SCDLP寒天培地[日本製薬株式会社], 混釈平板培養法	35 °C ± 1 °C, 2日間

以 上